

令和8年第9回にかほ市教育委員会 定例会

日 時 令和8年8月26日(水)

午後1時30分～

場 所 金浦公民館 軽運動室

議 事 日 程

第 1 会議録署名委員の指名

第 2 議案第42号 臨時代理の報告及び承認について

(転倒事故に伴う損害賠償額決定について)

第 3 議案第43号 にかほ市統合中学校校舎選定委員会への諮問について

第 4 議案第44号 令和8年度教育費9月補正予算について

第 5 報 告

令和8年8月26日招集

令和8年第9回 にかほ市教育委員会会議録

にかほ市教育委員会

令和 8 年第 9 回にかほ市教育委員会会議録

1. 期 日 令和 8 年 8 月 26 日 水曜日
2. 場 所 金浦公民館 軽運動室
3. 開 会 午後 1 時 28 分
4. 閉 会 午後 2 時 54 分

5. 出席委員 教育長 小 園 敦
委 員 伊 藤 知
委 員 佐 藤 道 彦
委 員 小 松 雅 子
委 員 佐 藤 緑

6. 説明のための出席者

教 育 次 長	池 田 智 成
教育総務課長	山 田 高
学校教育課長	佐々木 史 子
生涯学習課長	齋 藤 和 俊
仁賀保公民館長	佐 藤 紀 子
文化財保護課長	佐々木 真紀子
兼象潟公民館長	
仁賀保勤労青少年ホーム館長	村 上 裕 子
フェライト子ども科学館長	鎌 田 昭 義
白瀬南極探検隊記念館長	小 森 俊 英
図 書 館 長	齊 藤 充

7. 書 記 教育総務課副主幹 齋 藤 俊 晴

8. 会議に付した議案

- 議案第 42 号 臨時代理の報告及び承認について
- 議案第 43 号 にかほ市統合中学校校舎選定委員会への諮問について
- 議案第 44 号 令和 8 年度教育費 9 月補正予算について

9. 可 決 し た 議 案

- 議案第 42 号 臨時代理の報告及び承認について
- 議案第 43 号 にかほ市統合中学校校舎選定委員会への諮問について
- 議案第 44 号 令和 8 年度教育費 9 月補正予算について

10. その他の確認事項

- (1) 令和8年第10回教育委員会は令和8年9月29日(火)午後1時30分から金浦公民館で開催することにした。

11. 会議の要旨

【開会 午後1時28分】

【教育長】

それでは、ただ今から令和8年第9回にかほ市教育委員会を開会いたします。

本日の会議の出席委員は、5名全員であります。

議事日程の第1、会議録署名委員の指名を行います。会議録署名委員には、佐藤道彦委員と佐藤緑委員にお願いいたします。書記には、事務局の齋藤班長を指名します。

それでは、議事日程の第2「議案第42号 臨時代理の報告及び承認について」を議題といたします。象潟公民館長から説明をお願いいたします。

【象潟公民館長】

議案第42号 転倒事故に伴う損害賠償額の決定について、ご説明いたします。

本件は、6月19日(金)、象潟公民館の正面玄関で発生した転倒事故に関するものです。事故当時、玄関マットのずれを防ぐため、マットの端をブロックで押さえておりました。転倒された方は、そのブロックに気づき、振り向き様に、後方の知人にブロックがあることを伝えましたが、その知人がブロックに躓き、前方のご本人を押したことによって、ご本人が転倒したものであります。転倒後、必要な対応を行うとともに、検査等の治療に要した費用を確認し、損害賠償額を4,795円と決定したものであります。

なお、現在は、ブロックではなく、結束バンドによってマットを固定しており、通行に支障はない状態です。

今後も、利用者の同線上に危険な箇所がないか、日常的な点検を徹底し、安全・安心な施設管理に努めてまいります。

以上、ご報告申し上げます。

【教育長】

議案第42号について、説明が終わりました。質疑等ございませんか。

【教育長】

私の方から再度確認します。今の象潟公民館長の話の中で、今後の対応について一部具体的な話がありましたが、どのような安全対策をするのかももう一度確認させていただきます。お願いします。

【象潟公民館長】

今まで玄関の自動ドアの幅に応じたマットを敷いておらず、マットの端をブロックで抑えていたところですが、実際に合う状態のマットに交換して、ぴったり合うように結束バンドで繋いでいるので、ブロックを置く必要がなくなりました。以上のように対応しております。

【教育長】

安全には十分注意するということで、今できることをやっていると解釈しました。

【小松委員】

以前、冬に滑って転ばれたということがありましたが、利用者の方の年齢層が高いと何か事故を誘発するような要因があるのでしょうか。

【象潟公民館長】

その件は、施設の中で転倒されたようですが、施設に入る前に足ふきマットがあるのですが、そこで雪を全て払いきれない状態で中に入って転倒されたと聞いています。現在は、そのまま床の状態ではなく、マットを敷き詰めた状態にして、施設の中の方は対応しています。クリーニングの時は、マットを全部剥がした状態で掃除するなどして、衛生面には気を付けています。

確かに委員のおっしゃるとおり高齢化が進んでおり、注意喚起が少し足りなかった部分もありますので、今後も十分に気を付けていきたいと思います。

【佐藤緑委員】

今回は象潟公民館での事故でしたが、他の公民館も常に危ない所がないか、使用者の目線に立って確認していただければと思います。よろしくお願いします。

【伊藤委員】

玄関に入る際、真っすぐに入っていく人だけでなく、斜めから入っていく人もいるため、動線を確保することが一番重要だと思います。例えば、ラインを引くだとか、風が強い日はちょっと無理かもしれないがコーンを置くだとか、動線を確保してやるのが大事なと思います。象潟公民館の場合、スロープや段差があるため、他の公民館と比べ入りづらいため、特に気を付けて欲しいと思います。

今、小松委員が話した年齢層も考えて、高齢の方に気を配った動線確保が必要だと思いますので、その辺について努力していただければと思います。

【教育長】

他に質疑等ございませんか。

(なしの声)

【教育長】

議案第 42 号について、承認することとしてよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

【教育長】

それでは、議案第 42 号については、異議ないものと認め、原案のとおり承認することに決定しました。

次に、議事日程の第 3 「議案第 43 号 にかほ市統合中学校校舎選定委員会への諮問について」を議題といたします。教育総務課長から説明をお願いいたします。

【教育総務課長】

それでは、議案第 43 号について、説明いたします。

議案書の 3 ページと 4 ページをご覧ください。

委員の皆様もご承知のとおり、市内中学校の統合については、「にかほ市小・中学校再編計画」において令和 14 年 4 月の統合を目指し、校舎は既存の仁賀保中学校、象潟中学校のいずれかとし、令和 9 年度を目途に統合校舎の位置を決定することとしています。

7 月 29 日、統合中学校校舎の位置を選定するため、必要な調査及び審議を行う「にかほ市統合中学校校舎選定委員会」を設置しました。設置に先立ち、事前にお配りしました議案第 43 号関係資料「にかほ市統合中学校校舎選定委員会設置要綱」を作成しております。選定委員会は、教育委員会の諮問に応じ、統合中学校の位置選定に関して審議し、教育委員会に答申するものであります。

選定委員会の委員は、設置要綱の第 3 条にある通り、学校関係者、保護者代表者、地域代表者、学校運営協議会会長、識見を有するもの、その他教育委員会が必要と認めるものの中から教育委員会が委嘱しています。具体的には、にかほ市内小・中学校の校長のほか、各小・中学校の P T A 会長、仁賀保・金浦・象潟 3 地域の自治会長と主任児童委員の代表、仁賀保高校学校評議員、にかほ市学校運営協議会会長の 22 名とし、本日、選定委員会の名簿も資料として配布しております。

同日に開催した第 1 回目の委員会では、にかほ市学校環境適正化基本計画及び小・中学校再編計画の概要と選定委員会設置要綱について説明を行い、委員会設置の趣旨について理解を深めていただきました。その後、正副委員長を選出したほか、答申までのスケ

ジュールを確認しております。尚、当選定委員会の委員長には名簿番号 19 番の宮崎委員、副委員長には名簿番号 16 番の三浦委員を選出しております。

本議案は、選定委員会設置要綱第 2 条の規定に基づき、議案書 4 ページにあります「諮問書（案）」をにかほ市統合中学校校舎選定委員会の委員長に提出し、統合中学校の校舎位置の選定について答申をいただくことについて、教育委員会の承認をいただくものであります。

以上お諮りいたします。

【教育長】

議案第 43 号について、説明が終わりました。質疑等ございませんか。

【伊藤委員】

この委員の中には、教育長は含まれませんか。

【教育総務課長】

教育長は、委員には入っていません。委員会には事務局として参加いただいております。

【伊藤委員】

今回の校舎選定の前に、統合を決定した委員会を開催していると思うが、その時の委員はこの校舎選定委員に入っていますか。

【教育総務課長】

今回、選定した委員は、現時点で各小中学校の P T A 会長をされている方等であり、統合決定時の話し合いに入っていた方はいないと思います。もしかすれば、当時の説明会に出席していた方はいるかもしれませんが、委員として出席した方はいないのではないかと思います。そのため、今回の第 1 回目の委員会の際には、今までの計画の経緯や内容について改めて説明したところです。

【伊藤委員】

統合するかしないかの協議をした中の経緯をある程度知っている人がいないと少し手落ちかなという感じがします。統合理由は、子どもが少なくなっているからということはあると思うのですが、経緯を知っていないと……。事務局が言葉や紙で説明するだけで、その当時の委員会の中身や雰囲気を感じ取れる人がいないのはどうなのかと思ったので、少し気になって質問したところです。

【教育総務課長】

第1回目の委員会では、にかほ市学校環境適正化基本計画の数値的な部分について最新版に更新した上で現在までの状況を示しております。例えば、出生数にあつては、当該計画作成時70人程度での推移で想定していたものが、実際にはここ2年位の出生数は約50人になっており、やはり、このような危機感の中で、統合に向けて進めていかなければならないというようなお話をさせていただいております。また、当日は、統合の経緯等について、質問や意見等を出されたりしておりますので、今後もその辺の部分については、しっかりと伝えて統合中学校の選定に向けて進めていきたいと思っております。

【教育次長】

伊藤委員がおっしゃったとおり、これまでの経緯を知らないものですから、出席した委員からは、「なぜ、複式を市で解消できないのか」「市の方で先生を手当てすれば、複式を解消できるのではないか」という質問があり、その質問に対しては、ルールがある旨、学校教育課長が丁寧に説明して理解を得ております。また、仁賀保中学校と象潟中学校のどちらかとなっていることに対して、「なぜ、金浦中学校はその選択肢にないのか」という質問もありまして、それには、金浦小学校PTA会長がご自身で説明してくれまして、そこに、事務局でもこういう理由で象潟中学校と仁賀保中学校の2つの校舎になっている旨をきちんと補足しております。このように、疑問と思われるようなことは、その場で質問がありましたので、委員の皆さんの理解が進んだものと思っています。

【小松委員】

来年度を目指して結論を出すということですが、PTA会長さんの任期は今年度いっぱいですし、校長先生方には転勤があります。万が一、協議が伸びて年度を跨いだ場合も、最後までこのメンバーにお願いするという認識でよいのでしょうか。それとも、年度が変わったら、メンバーを交代して、また一から説明して協議していくのでしょうか。

【教育総務課長】

その件については、どうしても役職に充てている部分がありますので、令和9年度までとはしておりますが、できれば年度内に、この委員でなんとか結論まで持っていきたいと思っております。

万が一、年度を跨いだ場合でも、同じメンバーでできれば良いとは考えております。校長先生については人事異動の関係があるため難しいですが、その他の委員についてはできれば続けていただきたいと考えておりますので、その時には改めて伝えたいと思います。

【小松委員】

設置要綱に委員30名以内とありますが、メンバー固定ということなので、委員を増やすことは特に考えてないということですね。

【教育総務課長】

現時点では、このメンバー22名で協議を進めて行く予定です。

【佐藤緑委員】

小学校、中学校の校長とPTA会長、その他地域からということで選定されているのですが、令和14年4月の統合を目指して検討を進めるということですが、そこに該当する子どもたちの保護者の声は吸い上げていただけるものでしょうか。例えば、アンケートを実施したり、あるいは委員に加えるなど何らかの形で声を聞いていただき、委員の皆さんで共有するという考えはないでしょうか。現在の委員の方々は、それぞれの学校の将来を見据えて真剣に検討していただいていると思うのですが、実際にその場になるのは、今の小学校1年生などの年齢の子どもたちです。そのお子さんたちの保護者の声を汲み取っていただけるものかということを考えていました。

【教育長】

教育総務課長、現時点で回答できますか。

【教育総務課長】

現時点では、統合時に統合中学校の生徒になる子どもたちの保護者を新たに委員に加えるというところまでは、考えておりません。

【佐藤緑委員】

やはり、何らかの形で声を吸い上げ、委員の皆さんで共有していただければ良いのではないかと思います。

【教育次長】

現状を一番よく理解しているのは今の委員の方々です。

令和14年度までに中学校に上がってくる子どもたちは、現在の小学校の低学年ですので、小学校のPTA会長などからそういった部分の意見を吸い上げて、この会に持ってきていただけるように委員の方をお願いしてまいりたいと思います。

【佐藤緑委員】

当該のお子さんたちの保護者の声を抜きにしては進めて行けないのではないかと思います。

【佐藤道彦委員】

委員の中のPTA会長さんは会長という立場で来ていただいているということですが、例えば、それぞれの学校の代表として来ているのか、どこまでそれを吸い上げてきているのか、おそらく、まだやってないと思います。それぞれの会長という立場に居ながら

も個人的意見で話が進んでしまうと根本が揺らいでしまうのではないかと思うところもありますが、これがベストな人選だと思います。それこそ、これから進学する入学する子どもたちの親の人たちの声を聞ければベストだとは思いますが、そこだけちょっと気になっています。以上です。

【教育総務課長】

3地域からバランスよく選んでいるというところをまず見ていただきたいです。また、選定委員会の冒頭の教育長の挨拶でもありましたが、委員の皆様には、事務局側から提示する資料等から客観的に判断していただくようお願いしております。

【教育長】

最後に私の方から、今、4人の委員の方々が話しているのは、やはり、開いた時にいろいろな問題が起った時にどう対応するのかということを言っているわけです。もっともな意見で、佐藤緑委員からは当事者意識ということが出ました。それに対しては、教育次長からPTA会長を通じて意見を聴取するという話がありましたが、その意見で決まるものではありません。ですから、逆に言うと人数が多い方が自分の主張を言ってしまうとそれに決まってしまうことになるので、そうではないということを言っているわけです。やはり、教育委員会は、当事者意識に配慮するのだということを示せるようにして欲しいと思います。

先ほど伊藤委員から言われました、委員の中に私が入るか入らないかという話の中で、あえて委ねている前提としてお話ししたことをもう一度申し上げます。私が教育長になった令和5年にいろいろなご指導をいただいておりますが、その中で、客観性、将来性、数値化をしっかりとしてもらいたいということをエビデンスという言葉を使ってご指導いただきました。しっかりとエビデンスを出して欲しいということでした。やはり、人間なので、感情論は当然あるのですが、そこをまとめてもらうのがこの精鋭の22人になるわけです。小松委員から話が出たように、委員について、このままで行くのか行かないのか、これもまた難しい話ですが、いずれ行っても行かなくても客観的にきちんとやってもらうようにこちらとしてはお願いするしかないので、どれを取っても必ず問題は出てきます。それを危惧して皆さんに言っているのです、今、言われた貴重な意見なり対応については、事務局でもう1度練って、こういう方針だということを示してもらえればいいのかと思いますので、よろしくお願いします。

他に質疑等ございませんか。

【小松委員】

PTA会長さんが地区や学校の意見を全部把握するというのは、かなり難しい面もあると思うので、院内小学校の時のように詳しいアンケートなどの予定はあるのでしょうか。実際に統合中学校に通うことになる子どもの保護者などに、通学方法はどうか、どちらに通いたいかなど、何か思いを出していただくことは考えていませんか。

【教育総務課長】

アンケートについては、改めて行うことは考えていません。先ほど通学方法という話がありましたが、おそらく通学方法というのが一番のネックになる部分であると思います。例えば、スクールバスについては、仁賀保中学校に通う場合または象潟中学校に通う場合のそれぞれの地域からの乗車時間やバスの必要台数など、判断するために必要な資料をできるだけ多く示したいと思っております。

現委員、特に小学校PTA会長については、中学校の統合時に、ちょうどお子様が中学生にあたる保護者となる可能性もあるわけですので、今回は小学校も含めて小中学校全7校の中からも選ばせていただいております。

とにかく、できるだけ多くの判断材料をお示しして、どれが一番子どもたちにとって安全であるか、親御さんたちが安心できるか、そういう部分を重視して、判断いただきたいし、判断いただかなければなりません。判断にあたっては、最終的には全員の総意というような形に持っていきたいと思っております。

【伊藤委員】

合併時に合併協議会で一度象潟町が離脱した原因というのが庁舎の位置、名前云々ということで、1度、にかほ市が作れない状況になったことは、課長も次長も多分職員の時代だと思うので、しっかりと覚えていると思います。この件についても、象潟と仁賀保の綱引きになることは確実です。そういうことをしっかり頭に入れた上で、私が思うのは行政が行政の考えとして、にかほ市長が今どのような考えを持って、まちづくりをしているかということと、やはり、親御さんたち、子どもたちに負担がかからないような通学の仕方をしっかりと提示していかないと綱引きになると思うので、その辺を教育次長が先頭に立ってしっかりとした説明をして、理解をしていただいてやるべきだと思います。

最後に少しいやらしい言い方かもしれませんが、このメンバーは充て職としているが、正直なところ、私から見ると安易にただ単に「ここにはめればいいや。」という感じがします。だから、前の協議会の委員が入っていますかと聞いたのはそこなのです。30人だったらまだ8人入れるという考え方もありますが、数が多ければ多いほどまとまらないということもあります。そういう安直に見える委員の選出の仕方が少し気になったので、先に述べた2点を少し頭に入れて欲しいなと思いますのでよろしくお願いします。

【教育長】

他に質疑等ございませんか。

(なしの声)

【教育長】

議案第 43 号について、承認することとしてよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

【教育長】

それでは、今、委員の皆様方から得られた貴重な意見を踏まえた上で、事務局で頑張っていたきたいということをお願いします。

それでは、議案第 43 号については、異議ないものと認め、原案のとおり承認することに決定しました。

次に、議事日程の第 4「議案第 44 号 令和 8 年度教育費 9 月補正予算について」を議題といたします。教育総務課長から順に説明をお願いいたします。

(「議案第 44 号関係資料 令和 8 年度教育費 9 月補正予算 (案) 説明資料」により説明)

【教育長】

議案第 44 号について、説明が終わりました。質疑等ございませんか。

【佐藤道彦委員】

説明資料 2 ページの新規招致者の来日日程確定による調整とは、どういうことでしょうか。

【学校教育課長】

英語指導助手が新しく来ましたので、その報酬予算の調整です。

【教育長】

他に質疑等ございませんか。

(なしの声)

【教育長】

議案第 44 号について、承認することとしてよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

【教育長】

それでは、議案第 44 号については、異議ないものと認め、原案のとおり承認することに決定しました。

次に議事日程の第5「報告」に入ります。教育総務課長から順次「報告」をお願いします。

(教育総務課長から順次 報告)

【教育長】

ただいま各課等から報告がありましたが、確認したいことや詳しく聞いてみたいことなどはございませんか。

【佐藤道彦委員】

ご報告ありがとうございます。この時期は子どもたちの夏休みと重なる時期であったと思います。それぞれのところで、いろいろな催し物を実施いただきまして、良かった点、また、反省点などもあったと思いますので、また、来年度、魅力のある講座、テーマを提供していただければありがたいです。

【佐藤緑委員】

いろいろな事業について説明いただきました。それから、今朝の新聞を読んできましたが、戦中の防空壕跡とみられる遺構の調査、その他これからいろいろとやらなければならないことがあると思いました。事業、調査等について、「何のために、なぜそれをするのか」を担当の皆さんでもう一度共有していただければと思いました。事業を毎年のことだからとか、例年通りではなく、佐藤道彦委員の方からも「反省等を踏まえていろいろ検討して」という話がありましたが、何のためのものなのという目的についても、意識を共有していただければと思いました。

もう一つです。先ほど補正予算や事業の報告の中で修繕という言葉が何度か出ていました。あちこちで地震や豪雨などの自然災害が発生したり、資材の不足や高騰など、いろいろありますが何とか対応していただいて、特に利用される方たち、あるいは児童生徒にとって不都合のないような環境を提供できるよう、いろいろな制約への対応など難しいところがあるかと思いますが、どうかよろしくお願いします。

【小松委員】

事業報告を伺って、皆さんがそれぞれ工夫して、市民の皆様に文化的な活動を提供しようという気持ちが感じられてありがたかったです。あと、防空壕ですが、私もこれを何かとずっと思っていたので、今回、謎が解けてすごく嬉しいです。やはり、こういう掘り返さなければいけないもの、文化財的なものなど、まだ私たちが気付いていないものがあると思うので、日常の生活を通して注意深く見て行きたいと思いました。

【伊藤委員】

今朝の新聞を見て、防空壕を見てきました。以前は建物の陰に隠れていたようです。隠れている遺跡は、まだまだ市内にあるのかなと思いますので、これから頑張って調査していただければありがたいです。

【教育長】

それでは私から報告いたします。

(教育長 報告)

以上で、全ての審議が終わりましたが、委員の皆さんから何かありませんか。

(なしの声)

【教育長】

ないようですので、次回の教育委員会の開催について、9月29日(火)午後1時30分から金浦公民館で開催したいと思います。

以上で、本日の委員会に提案された議案の審議は全て終了しましたので、これをもちまして、第9回にかほ市教育委員会を閉会します。

【閉会 午後2時54分】

署名

にかほ市教育委員会 教育長

小園 敦

〃 委 員

佐藤 道彦

〃 委 員

佐藤 緑

令和 8 年度
教育費 9 月補正予算（案）
説明資料

【歳出】

10 款 1 項 2 目 教育総務費 事務局費（教育総務課）

○事務局費	1,386,000 円	
1 節 報酬（会計年度任用職員）	644,000 円	
会計年度任用職員報酬		644,000 円
・採用者確定による調整		
3 節 職員手当等（会計年度任用職員）	742,000 円	
会計年度任用職員期末手当		403,000 円
会計年度任用職員勤勉手当		339,000 円
・採用者確定による調整		

10 款 1 項 4 目 教育総務費 英語指導助手招致費（学校教育課）

○英語指導助手招致費	78,000 円	
1 節 報酬（会計年度任用職員報酬）	78,000 円	
・新規招致者の来日日程確定による調整		78,000 円

10 款 2 項 1 目 小学校費 学校管理費（教育総務課）

○学校施設管理費	2,243,000 円	
10 節 需用費（修繕料）	1,110,000 円	
・金浦小学校中庭校舎外壁塗裝修繕		380,000 円
・象潟小学校体育館用具庫建具改修		330,000 円
・小学校遊具修繕料		1,133,000 円
平沢小・象潟小（鉄棒・雲梯）、金浦小（大型ブランコ）		
・小破修繕料		400,000 円
○学校施設整備事業費	9,985,000 円	
14 節 工事請負費	9,985,000 円	
・平沢小学校北門校門前ます修繕工事		737,000 円
・平沢小学校プールサイド床段差修繕工事		2,992,000 円
・象潟小学校昇降口前渡り廊下床改修工事		1,540,000 円
・象潟小学校体育館非常口外扉更新工事		2,596,000 円
・象潟小学校体育館出入口ドア更新工事		770,000 円
・小学校網戸設置工事（金浦小・象潟小）		580,000 円
・小学校遊具撤去工事 平沢小（滑り台）金浦小（複合遊具）		770,000 円

○平沢小学校環境整備事業費 1,749,000 円

12 節 委託料 1,749,000 円

・平沢小学校環境整備工事実施設計業務 1,749,000 円

10 款 2 項 1 目 小学校費 学校管理費（学校教育課）

○象潟小学校 学校生活・学習サポート事業費 24,000 円

8 節 旅費（会計年度任用職員費用弁償） 24,000 円

・生活、学習サポート 人事異動による調整 24,000 円

10 款 2 項 3 目 小学校費 学校給食費（学校教育課）

○平沢小学校給食費 893,000 円

10 節 需用費（修繕料） 393,000 円

・床塗装修繕 393,000 円

12 節 委託料 500,000 円

・給食室空調設備設置工事実施設計業務委託料 500,000 円

10 款 3 項 1 目 中学校費 学校管理費（教育総務課）

○学校施設管理費 708,000 円

10 節 需用費（修繕料） 708,000 円

・象潟中学校武道場トップライト機器修繕 308,000 円

・小破修繕料 400,000 円

○中学校施設整備事業費 33,238,000 円

12 節 委託料 678,000 円

・象潟中学校職員室系統空調設備更新工事 設計監理業務 126,000 円

・象潟中学校職員室系統空調設備更新工事 工事監理業務 552,000 円

14 節 工事請負費 32,560,000 円

・象潟中学校職員室系統空調設備更新工事 14,850,000 円

・仁賀保中学校校門脇駐車場舗装工事 1,650,000 円

・仁賀保中学校体育館流し台改修工事 660,000 円

・仁賀保中学校北面外壁改修工事 1,320,000 円

・金浦中学校自動火災報知設備移設更新工事 4,950,000 円

・金浦中学校非常用放送設備移設更新工事 3,520,000 円

・金浦中学校躯体修繕工事 660,000 円

- ・ 象潟中学校排煙機器修繕工事 1,320,000 円
- ・ 象潟中学校側溝入替工事 1,650,000 円
- ・ 仁賀保中学校網戸設置工事（音楽室・視聴覚室） 1,980,000 円

10 款 3 項 1 目 中学校費 学校管理費（学校教育課）

○仁賀保中学校管理費 209,000 円

10 節 需用費（修繕料） 209,000 円

- ・ 職員玄関口前アルミ板張替修繕 83,000 円
- ・ 体育館裏鉄扉塗装修繕 126,000 円

10 款 3 項 3 目 中学校費 学校給食費（学校教育課）

○仁賀保中学校給食費 100,000 円

10 節 需用費（修繕料） 100,000 円

- ・ 小破修繕料 100,000 円

10 款 4 項 1 目 社会教育総務費（生涯学習課）

13 節 各種使用料 220,000 円

- ・ 二十歳を祝う会会場使用料 220,000 円

10 款 4 項 2 目 仁賀保公民館費（仁賀保公民館）

10 節 需用費（修繕料） 200,000 円

- ・ 小破修繕料 200,000 円

10 款 4 項 4 目 象潟公民館費（象潟公民館）

14 節 工事請負費 605,000 円

- ・ 非常用バッテリー交換工事 605,000 円

10 款 4 項 5 目 図書館費（図書館）

10 節 需用費（修繕料） 100,000 円

- ・ 小破修繕料 100,000 円

10 款 4 項 6 目 仁賀保勤労青少年ホーム管理費（仁賀保勤労青少年ホーム）

10 節 需用費（修繕料）	1,000,000 円	
・ 音楽ホールサーモスタット交換		83,000 円
・ スポットクーラー排気口窓枠修繕		95,000 円
・ トレーニング室コンセント増設		80,000 円
・ 自動火災報知設備修繕		70,000 円
・ 冷却塔基礎部補修		154,000 円
・ 誘導灯修繕		207,000 円
・ 小破修繕等		311,000 円
14 節 工事請負費	3,080,000 円	
・ ホーム冷温水発生器修繕工事		1,100,000 円
・ 外部ポーチ床・階段部滑り止め塗装工事		1,980,000 円

10 款 4 項 7 目 金浦勤労青少年ホーム管理費（生涯学習課）

10 節 需用費（修繕料）	100,000 円	
・ 小破修繕料		100,000 円

10 款 4 項 8 目 フェライト子ども科学館管理費（フェライト子ども科学館）

10 節 需用費（修繕料）	150,000 円	
・ 小破修繕料		150,000 円

10 款 4 項 9 目 白瀬南極探検隊記念館管理費（白瀬南極探検隊記念館）

○白瀬南極探検隊記念館管理費	4,873,000 円	
1 節 報酬（会計年度任用職員）	1,373,000 円	
・ 採用者確定による調整		
3 節 職員手当等（会計年度任用職員）	1,520,000 円	
会計年度任用職員期末手当		825,000 円
会計年度任用職員勤勉手当		695,000 円
・ 採用者確定による調整		
14 節 工事請負費	1,980,000 円	
記念館誘導看板借地原状回復工事		1,980,000 円

10 款 4 項 10 目 文化財保護管理費（文化財保護課）

○埋蔵文化財分布調査事業費 578,000 円

1 節 報酬（会計年度任用職員）	254,000 円	
・採用者確定による調整		254,000 円
3 節 職員手当等（会計年度任用職員）	324,000 円	
会計年度任用職員期末手当		176,000 円
会計年度任用職員勤勉手当		148,000 円
・採用者確定による調整		

10 款 5 項 5 目 保健体育費 金浦給食センター費（学校教育課）

○金浦給食センター費 1,193,000 円

10 節 需用費（修繕料）	500,000 円	
・緊急対応修繕料		500,000 円
14 節 工事請負費	693,000 円	
・フライヤー下ほか床塗装修繕工事		693,000 円

10 款 5 項 6 目 保健体育費 象潟給食センター費（学校教育課）

○象潟給食センター費 888,000 円

10 節 需用費（修繕料）	173,000 円	
・エアハンドリング温水補給水ポンプ取替		173,000 円
14 節 工事請負費	715,000 円	
・通路壁修繕工事		715,000 円

教育総務課

1. 7月の修繕の発注実績

○象潟中学校GHP - 1 室外機電子制御弁修繕

※7/10 随意契約

契約金額：451,000 円

期 間：令和8年7月10日～令和8年8月24日

業 者：三共株式会社

内 容：電子制御弁交換 冷媒ガス充填

2. 事業報告

○第1回にかほ市統合中学校校舎選定委員会

開催日時：令和8年7月29日（水） 午後6時～

場 所：金浦公民館 2階 軽運動室

出席委員：22名中18名参加

3. 事業計画

○にかほ市教育委員会評価委員会

日時：令和8年9月11日（金） 午前10時～

場所：金浦公民館 2階 軽運動室

案件：令和7年度事業 点検・評価報告書の最終確認

〔令和7年度対象事業〕

No	事 務 事 業 名	課 名
1	小・中学校施設及び設備の維持管理業務	教育総務課
2	学校生活・学習サポート事業	学校教育課
3	二十歳を祝う会	生涯学習課
4	にかほ再発見！自然観察会	仁賀保公民館
5	消しゴムはんこ教室	象潟公民館
6	発明工夫・未来の科学の夢絵画展	フェライト子ども科学館
7	子供映画会	図書館こぴあ
8	収蔵資料デジタルアーカイブ化事業	白瀬南極探検隊記念館
9	展示室リニューアル事業	仁賀保勤労青少年ホーム
10	伝承芸能承継推進事業	文化財保護課

学校教育課

1. 事業報告

- 7月29日(水) 夏季教職員研修会
- 8月10日(月)・12日(水)～14日(金) 学校閉庁日
- 8月18日(火) 市生活・学習サポート支援員研修会
- 8月25日(火) 2学期始業式
- 8月25日(火) 第4回にかほ市校長会

2. 事業計画

- 9月 2日(水) 本荘由利校長会9月例会
- 9月 2日(水) 第3回特別支援教育関係事業等運営委員会
- 9月 3日(木) 院内小5年自然教室(～4日)
- 9月13日(日) 小学生陸上競技交流大会秋田県予選会
- 9月17日(木) 象潟小6年修学旅行(～18日)
- 平沢小6年修学旅行(～18日)
- 9月19日(土) 中学校地区秋季大会(～20日)
- 9月25日(金) 第3回にかほ市教頭会

- 9月28日(月) 学校訪問(平沢小：午前、仁賀保中：午後)
- 10月16日(金) 学校訪問(象潟小：午前、象潟中：午後)
- 10月19日(月) 学校訪問(金浦小：午前、金浦中：午後)
- 10月29日(木) 学校訪問(院内小：午前)

《ALT》7/27～ウィリアム・グロービー(象潟中)

生涯学習課・金浦公民館

1 事業報告

7 月 27 日（月） 公民館講座「モチベーションアップ！歌を歌ってみよう」③

4 名参加

7 月 28 日（火） 公民館講座「カヌー体験会」①

5 名参加

8 月 1 日（土） 第 42 回奥の細道象潟全国俳句大会（ホテルエクセルキクスイ）

選者：俳誌「郭公」主宰 井上 康明 氏

《投句数》 一般の部 484 句（うち高校生 208 句）、子どもの部 629 句

《表彰式・講演会》 一般の部 48 名、子どもの部 16 名

8 月 4 日（火） 公民館講座「カヌー体験会」②

2 名参加

8 月 5 日（水） 放課後子ども教室 浜っ子クラブ 「夏をたのしもう」

12 名参加

8 月 6 日（木） 青少年にかほ市民会議中学生リーダー研修会

～ 7 日（金） 松島町との交流会（協力：仁賀保高校生徒会）

松島中 5 名、仁賀保中 5 名、金浦中 3 名、象潟中 4 名、仁賀保高 5 名参加

8 月 10 日（月） ほんわっカフェ

8 月 23 日（日） 男女共同参画オンラインセミナー

19 名参加

●にかほ夢ギャラリー（金浦）展示 8 月「にかほ市生涯学習奨励員作品展」

2 事業計画

9 月 10 日（木） ほんわっカフェ in 金浦保健センター

9 月 12 日（土） 放課後子ども教室 浜っ子クラブ「防災を体験しよう」

9 月 17 日（木） 高齢者学級 金浦福寿大学

「みんなで作ろう ♪ 創作活動 キーホルダー作り」

講師：にかほ市生涯学習奨励員 池田 貞 氏

●にかほ夢ギャラリー（金浦）展示 9 月「湾頭絵画クラブミニ作品展」

仁賀保公民館

1 事業報告

8月21日（金） 放課後子ども教室 キッズユートリック

「防災学習館を探検しよう！」

17人参加

●にかほ夢ギャラリー（仁賀保）展示 8月「安倍青珠書作展」

2 事業計画

8月26日（水） 市民講座「地震と防災」

9月 1日（火） 放課後子ども教室 キッズユートリック「砂浜で遊ぼう」

9月 1日（火） ～3日（木） インターンシップ受入れ 由利高校生1人

9月 9日（水） 公民館講座「後世に伝えたい偉人講座～池田吉兵衛～」

9月15日（火） 公民館講座「気になるヨガ」②（Z o o m配信）

9月16日（水） 高齢者学級 むらすぎ学園

「にかほの魅力再発見～ルックバック映画鑑賞～」

9月29日（火） 公民館講座「はじめてのフラダンス無料体験講座」①

●にかほ夢ギャラリー（仁賀保）展示 9月「馬場婦人学級作品展四十数年の歩み」

文化財保護課・象潟郷土資料館

1. 事業報告

入館者数の実績

	令和8年度	令和7年度	比較	増減率(%)
4月～7月	971	776	195	25.1%
うち7月	440	260	180	69.2%

7月31日（金）・8月1日（土）奥の細道サミット in にかほ市象潟

講演会 140人

8月7日（金）にかほ市教職員初任者研修 7人

8月19日（水）にかほ出前講座（象潟ロータリークラブ） 7人

2. 事業計画

8月27日（木）にかほ市郷土史研究会 視察研修会

8月28日（金）・29日（土）仏像調査（二次調査）

9月12日（土）第1回郷土史市民講座

「縄文時代最後の地震・火山災害と弥生時代の開幕」

講師 神戸女子大学文学部史学科 准教授 齋藤瑞穂 氏

9月13日（日）第34回庄内・由利古文書研修交流会

9月17日（木）第2回郷土史市民講座

「秋田の貝塚」

講師 秋田県埋蔵文化財センター調査チーム副主幹 加藤竜 氏

象潟公民館

1 事業報告

7月29日(水)・30日(木) 消しゴムはんこ教室 延べ21人参加

8月 5日(水) 放課後子ども教室 友遊クラブ「和太鼓を体験しよう！」

16人参加

8月25日(火) 高齢者学級 白寿大学「軽運動」 15人参加

●にかほ夢ギャラリー(象潟)展示 8月「御殿まり展」

2 事業計画

9月 6日(日) 公民館講座 快適ライフスタイル講座

9月13日(日) 放課後子ども教室 友遊くらぶ「木の実で ものづくり体験」

●にかほ夢ギャラリー(象潟)展示 9月「広げよう!新しい認知症観」

仁賀保勤労青少年ホーム

1. 事業報告

○展示室入館者数の実績

	R8	R7	増減	増減率
4～7月	186人	87人	99人	53.2%
うち7月	104人	22人	82人	78.8%

※令和3年4月1日より市内来館者の入館料は無料

○トレーニング室利用者数の実績

	R8	R7	増減	増減率
4～7月	5,290人	4,983人	307人	5.8%
うち7月	1,347人	1,259人	88人	6.5%

○トレーニング室利用登録者数の実績

	R8	R7	増減	増減率
4～7月	174人	154人	20人	11.5%
うち7月	49人	35人	14人	28.6%

8月6日(木)

トレーニング室新規利用者講習会(参加者14人)

8月18日(火)～19日(水)

令和8年度全国専門学科情報科研究協議会秋田大会(380人)

8月26日(水)

にかほ市戦没者追悼式

2. 事業計画

9月3日(木)

トレーニング室新規利用者講習会

9月13日(日)

仁賀保中学校吹奏楽部定期演奏会

9月21日(月)

ツキイチコンサート「民謡みちのく会」

9月27日(日)

さざんかの会コンサート

令和8年第9回教育委員会【報告資料】

フェライト子ども科学館

1. 事業報告

(1) 入館者数の実績

	R 8 年度	R 7 年度	比較	増減率	説 明
4 ～ 7 月 計	11,506 人	11,223 人	283 人	2.52%	
うち 7 月	2,833 人	2,816 人	17 人	0.60%	

(2) 事業実績

8 月 1 日 (土) ～ 23 日 (日)

夏休みパネル展 NHK 共同企画「シチズンラボ」

～研究者も解明できていない謎と一緒に挑んでみませんか～

テーマ：セミ・ゲンジボタル・ウスバキトンボ大調査

7 月 31 日 (金) 科学ウォッチング「ジオサイト巡り」 12 人

8 月 4 日 (火) 由利本荘教育研究会社会科総合的な学習の時間研究部研修会
13 人

8 月 5 日 (水) 科学ウォッチング「マイナスの世界」 7 人

8 月 7 日 (金) 科学ウォッチング「夏の天体観測」 47 人

8 月 22 日 (土) ～ 23 日 (日)

WRO 決勝大会 (東京都浜松町)

○エレメンタリー (小学生部門)

大内小チーム 決勝ラウンド出場

○ジュニア (中学生部門)

大内中チーム 決勝ラウンド出場 (シード枠)

象潟中チーム 予選ラウンド敗退

○シニア (高校生部門)

仁賀保高校チーム 予選ラウンド敗退

2. 事業計画

9 月 19 日 (土) 3D プリンター教室

白瀬南極探検隊記念館

1. 事業報告

○ 入館者数の実績

	令和8年度	令和7年度	比較	増減率
4月～7月計	4,372	4,052	320	7.9%
うち7月	1,117	942	175	18.6%

7月30日(木) 全国高等学校総合文化祭 自然科学部門巡検研修 28名

8月 7日(金) にかほ市教職員初任者研修 8名

8月19日(水) 全国専門学科情報科学研究協議会 生徒交流研修会 46名

8月19日(水) 港区芝浦港南地区小学生交流事業 館内見学 22名

2. 事業計画

9月 2日(水) 出前講座(仁賀保 両前寺地区)

9月 4日(金) 白瀬轟追弔会 及び ミニコンサート

9月 8日(火)
～11月15日(日) 秋田魁新報社 大久保記者写真展「南極にて」

写真展

南極にて

— 第66次観測隊同行記録 —

氷海を進む観測船「しらせ」の様子や、南極大陸の壮大な景色、過酷な環境の下で観測に取り組む隊員の姿一。第66次南極地域観測隊に同行取材した秋田魁新報社・大久保瑠衣記者が撮影した紙面や電子版未公開の写真を含む約40点を前期・後期に分けて展示します。

期間 9月8日(火)～11月15日(日)

前期: 9月 8日(火)～10月12日(月・祝)

後期: 10月14日(水)～11月15日(日)

※前期、後期で作品を入れ替えます。

会場 白瀬南極探検隊記念館
(にかほ市黒川字岩淵15-3)



ルート案内は
こちらから

入館料 一般:300円 小中学生:200円 幼児:無料
にかほ市内の小中学生:無料

時間 午前9時～午後4時半 (入館は午後4時まで)

休館日 月曜日 ※祝日の場合は翌平日

ギャラリートーク

南極経験者と大久保記者が語る
南極ウラ話! (各日30分程度)

① 9月19日(土) 午後1時半～

ゲスト: 高坂匡史氏

(東光鉄工 第60、61、62、63、65、66次隊員)

② 10月24日(土) 午後1時半～

ゲスト: 安藤伸一氏

(秋田魁新報社 第51次同行記者)

撮影者

大久保瑠衣

【秋田魁新報社統合編集本部】
写真映像グループ長

2006年入社。2024年12月
から約4カ月間、第66次
南極観測隊に同行取材。

来場者特典

会場内掲示のQRコード読み取りで
「南極の景色スマホ用待ち受け画像」プレゼント

📷 会場内写真撮影、SNS掲載OK

※写真の接写、フラッシュ・三脚の使用はご遠慮ください

共催: 秋田魁新報社・白瀬南極探検隊記念館

問い合わせ

秋田魁新報社

白瀬南極探検隊記念館

(いずれも午前9時～午後5時)

☎ 018-888-1800

☎ 0184-38-3765

図 書 館

1. 事業報告

【テーマ展示】

ルックバック公開記念企画展示（背中で語る、ものづくりの光と影）

図書館こぴあ 「是枝裕和監督の映画と創作の世界」（継続展示）

仁賀保分館 「藤本タツキの世界と現代の創作」（継続展示）

象潟分館 「『創作』の物語」（継続展示）

8月 1日（土） 第1回にかほ市おすすめ本 POP コンクール
～10月2日（金）

8月 8日（土） おはなし会
親子4組9人参加（朗読ボランティア3人参加）

8月 8日（土） 夏のお楽しみ企画「おぼんだま」
～21日（金） 3館同時開催（こぴあ、仁賀保分館、象潟分館）
図書館こぴあ：展示数28セット、貸出数22セット
仁賀保分館：展示数27セット、貸出数23セット
象潟分館：展示数26セット、貸出数19セット

8月 9日（日） 「夏のカードづくり」（仁賀保分館）
親子6組15人参加

8月16日（日） 夏休み子ども映画会（こぴあハイビジョンルーム）
「チキップダンサーズ『なんだかこころもおどるんだ』」
親子2組4人参加

8月24日（金） ブックスタート事業 1人参加

2. 事業計画

9月12日（土） おはなし会

9月25日（金） ブックスタート事業

読書通帳冊数（8月25日現在）

こぴあ：312冊 仁賀保分館：340冊 象潟分館：146冊

にかほ市の魅力を活かした教育活動の推進

25日(火)から2学期が始まりました。各校においては、今学期の目標や課題解決に向けて、組織的に取り組んでいただくことを期待しております。

子どもたちにとって夏休みは、家族や地域の方々とともに、さまざまな「学び」を体験できるとても貴重な期間です。

学校の授業で学ぶことに加えて、にかほ市の自然や文化、産業、伝統芸能、花火大会のイベント等が、子どもたちの感受性を豊かに導いてくれます。長期休業中には、お盆をはじめとしてふるさとにかほ市に帰省して来る人々、観光で訪れる人など沢山の人的交流を通して、子どもたちのみならず、大人にとっても新しい挑戦と発見の大チャンスです。

8月6日(木)から8月7日(金)にかけて「第15回中学生リーダー研修会」が、青少年育成にかほ市民会議と青少年健全育成松島町民会議の共催で、金浦公民館を主会場に開催されました。

にかほ市の三中学校から12名、松島中学校の生徒5名が4班に分かれて、研修を行いました。恒例となっている仁賀保高校生徒会の皆さんがファシリテーター役として、各班の主体的かつ協働的で深い学びを牽引してくれました。

開会行事には、松島町の内海教育長が遠路はるばる駆けつけ、その後研修の様子も見学していただきました。

今年の研修は、昨年好評だった映像制作を、時間を倍増して二日間かけて行いました。(株)StudioQWAの畠山麻里、大黒屋卓也両氏が講師となり「みんなを導くリーダー像をCMで表現しよう!」をテーマに学びを深めました。当日はABSの取材が入り、研修の様子がニュースエブリイで報道されました。今後は、「映像制作」を取り入れたにかほ市の教育活動の展開に期待を寄せています。

このほかにも夏休み中に、沢山の貴重な体験会がありました。教育委員会はこれからも、好奇心を宿す体験学習を企画運営して行きたいと思います。

伊藤知教育委員の退任に寄せて

平成30年9月1日から教育委員として、にかほ市の教育行政の発展に多大なる貢献をいただいていた、伊藤知教育長職務代理者におかれましては、令和8年8月31日をもって御退任となります。

旧金浦町議会議員の後、にかほ市誕生後も市議会議員として、市政の健全化に大いに寄与されました。その手腕を買われ、2期8年間、時には苦言も呈しながら、教育委員会の役割と責任の重さを、建設的な提言を踏まえて示していただきました。

私が仁賀保高校長時代には、進路実績の見える化に関する改善の必要性を指摘していただき、ホームページの即時刷新を行うきっかけをつくっていただきました。

令和5年「学校環境適性化」に関する議論の際も、にかほ市の将来を見据えた正論を展開するなど、教育委員会の中心的な存在として職員を指導し、教育委員会の重責を意識させる箴言を沢山いただきました。

これまでの数え切れない御貢献に感謝申し上げますとともに、慎んで御礼を申し上げます。伊藤知教育長職務代理者、誠にありがとうございました。

